



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

1995年6月1日発行 第7号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

- 5周年を節目として更なる発展を!! -

スペインが大好きな仲間が集り、スペインという共通の目標の中で会員相互のいい出会いを求めて発足した当協会も5周年を迎え、この間「桜の植樹」をはじめスペインサロン、スペイン語教室など多彩な活動を続けてまいりました。特に「桜の植樹」については、ロンダ在住の春田美樹画伯（協会顧問本年2月2日死去）との出会いから始まり「桜咲く日本に生れた男かな」と、日本への望郷と追憶のシンボルとして愛するロンダの町に桜を咲かせて欲しいとのことで共に桜の花に託した男のロマンを秘めて十数年が過ぎ、1993年3月

横浜スペイン交流協会会長 下山 貞明

末、ロンダ市において「桜の植樹」と「市民交流」という形で実現した。亡き友春田美樹氏の願いが美しい桜の花の心とともに、スペインとの交流の輪が広がるものと信じております。第二弾として本年11月初旬、セビリヤ市、コリア・デル・リオ市へ宮城スペイン協会と共催で「桜の植樹」を実施することになりました。当協会のシンボルマークの一枝の桜の花がいっぱいに咲きこぼれることを願い、5周年を契機として、新たな活動を展開してまいりたいと思います。皆様方より一層のご協力をお願いいたします。

1995年度総会開く!

設立5周年記念行事・セビリヤ市へのさくら植樹等を発表

1995年4月15日、フォーラム横浜（ランドマークタワー13階）において95年度総会が開催されました。

本年は協会設立5周年にあたり、執行部から記念行事の計画や、新駐日スペイン大使迎浜のイベント、11月に予定されているセビリヤ市およびコリア・デル・リオ市へのさくら植樹などが発表されました。会長挨拶、議長選出の後、以下の議案について決議がなされました。

第1・2号議案

前年度事業報告・決算・監査報告は異議なく承認。

第3・4号議案

新年度事業計画・予算案も異議なく承認。

第5号議案

議長よりさくら植樹についての経過報告がなされた。

総会終了後、同会場において本年11月にさくらを植樹するセビリヤ、コリア・デル・リオ両市に関連した、東北伊達藩の使節「支倉常長の旅 第3回」（講師 飯塚常務理事）の講演が行なわれました。その後懇親会に移り、各自の自己紹介などなごやかな雰囲気うちに閉会しました。

1995年度事業計画

横浜スペイン交流協会は、1995年7月7日、創立5周年を迎えます。

本年は11月に当協会設立の主要目的（事業）の一つである「スペインにさくらを植樹すること」を実施いたします。会員各位にはよろしくご理解のうえ、ご協力を重ねてお願いいたします。

1. 「さくら交流事業」の推進

- 4月－さくら植樹使節団のための旅行計画およびセビリア市との本格的折衝開始。
- 5月－横浜市海外交流協会への協力要請。
- 6月－さくら交流基金の本格的募金開始。
- 11月－セビリアおよびコリア・デル・リオの両都市にさくら植樹の使節団を派遣。

2. 創立5周年記念行事開催

- 6月－新任のスペイン大使を横浜にお呼びし、パーティその他を企画。

3. 交流パーティの開催

- 12月－セビリアへのさくら植樹報告会をかね、次期さくら植樹基金募集のためのパーティを開催。

4. スペインサロン及びテルトゥリアの月例開催

5. 第3回写真展「わたしの撮った素顔のスペイン」の開催

6. 協会グッズの製作と販売

7. スペイン語教室

8. その他文化交流事業に参加

協会のあゆみ（1994年度）

- 4月12日 さくら植樹について『宮城スペイン協会』と連絡調整
- 4月16日 理事会・総会開催
- 4月24日 『日本マドリード会』総会に出席
- 4月27日 『宮城スペイン協会』総会に出席
- 5月9日 『宮城スペイン協会』と連絡調整
- 5月14日 スペインサロン（講演／支倉常長の旅Ⅰ）
- 5月29日 『日本マドリード会』25周年パーティに出席
- 6月11日 スペインサロン（講演／わが故郷コルドバ）
- 6月14日 セビリア市さくら植樹についてスペイン大使と会談
- 6月17日 春田美樹（顧問）個展
- 6月22日 スペイン大使へセビリア市長宛公文書依頼
- 7月7日 『宮城スペイン協会』と連絡調整
- 7月9日 スペインサロン（講演／カルロス国王・荻内先生）
- 8月19日 さくら銀行『さくら基金』振込手数料免除申請（8.22許可）
- 8月22日 神奈川新聞『さくら基金募集』後援名義許可
- 8月22日 ロンダ市長宛さくらの育成状況につい

て公文書発送

- 8月29日 新横浜国際ホテルに12月パーティ会場依頼
- 8月30日 『さくら基金募集趣意書』完成
- 9月3日 スペインサロン（講演／支倉常長の旅Ⅱ）
- 9月13日 『宮城スペイン協会』と連絡調整
- 9月28日 役員会開催
- 10月6日 ライオンズクラブ依田委員長と協議
- 10月9日 『宮城スペイン協会』中島事務局長来浜し協議
- 10月12日 スペイン大使館主催ナショナルデーパーティに出席
- 10月28日 スペイン大使と打ち合わせ
- 11月8日 『宮城スペイン協会』と連絡調整
- 11月21日 『日本花の会』へさくら苗木1,000本委託
- 12月11日 『さくら基金募集』のためのフラメンコディナーショー開催
- 12月13日 スペイン大使館主催大使送別パーティ出席
- 1995年
- 1月13日 第2回写真展（18日まで開催）
- 1月23日 日本スペイン協会主催西日本大使歓送迎会に出席
- 1月25日 『日本さくらの会』品川常務理事と懇談
- 1月31日 『宮城スペイン協会』新春の集に祝電

2月 7日 春田美樹顧問の告別式に出席
2月 8日 『大分日本エスパンア協会』会長と、
さくら植樹について協議
2月 9日 『宮城スペイン協会』と連絡調整
2月26日 協会・スペイン語教室合同新年会開催
3月26日 旅行委員決定（さくら植樹に関する旅
程、スペイン側との窓口となる）
3月18日 スペインサロン（講演／大航海時代の
異見・異聞／長南先生）
3月31日 『宮城スペイン協会』中島事務局長来
浜し協議

■企画／総務委員会
1994年4月12日～1995年3月18日 11回開催
■旅行委員会
1995年3月18日、25日 2回開催
■テルトゥリア
1994年6月25日～1995年3月26日 7回開催
■スペイン語教室
10教室開催 総生徒数 185名

最良の理解者、アントニオ・デ・ オヤルサバル閣下デンマークに転任

当協会が発足したのが1990年7月7日。くしくもこの年この月の13日に日本に着任されたのが、前駐日スペイン大使のアントニオ・デ・オヤルサバル閣下でした。閣下はご自分が着任された年に設立した協会として、日本駐在中は当協会のよき理解者として、公務で多忙な中、たびたび横浜に足を運んでくださいました。

昨年暮れデンマーク大使として転任されましたが、1993年に当協会がロンダ市に桜の植樹ができたのも、今は亡き当協会顧問の春田美樹画伯のご努力は勿論のこと、重ねてオヤルサバル閣下のご協力があったからこそです。ここに、閣下の来浜の日時を記し、改めて感謝の気持ちを示したいと思います。

■アントニオ・デ・オヤルサバル閣下来浜の記録

- 1990年 7月13日 駐日スペイン大使として着任。
- 1990年12月 5日 最初の来浜。高秀市長を表敬訪問。協会会員と横浜港をクルーズ、協会主催のパーティに参加。
- 1991年 3月20日 三溪園のさくらを見物。
- 1991年 6月18日 日本で没した先輩駐日スペイン大使の墓参（山手外人墓地）。
- 1991年12月14日 協会主催の交流パーティに参加。
- 1992年 8月26日 サンタ・マリア号復元船横浜寄港イベントに参加。
- 1992年 8月31日 スペインよりトッナを迎えての協会主催の交流パーティに参加。



オヤルサバル前駐日大使

- 1992年12月 4日 協会主催の交流パーティに参加。
- 1993年12月11日 協会主催の交流パーティに参加。
- 1994年12月 3日 ランドマークタワー訪問。

ようこそサンティアゴ・サラス大使

昨年（1994年）暮、アントニオ・デ・オヤルサバル大使にかわって、サンティアゴ・サラス大使がご着任されました。ここに新任大使のプロフィールをご紹介します。

統合を深化させているEU、その中で先進国に変貌しつつあるスペイン、そして躍進著しい東アジア、そのリーダーとしての日本というグローバルな構図の中で、スペインと日本との関係は、文化・政治・経済・産業・技術など多方面にわたって広がりつつあります。西日二国間関係のダイナミックな展開が期待される今日、48歳で活力溢れるサンティアゴ・サラス氏の大使着任は、時宜にかなっているといえましょう。

■サンティアゴ・サラス大使の略歴

- 1946年 スイスに生まれる。
マドリード・コンプルテンセ大学で政治学を修める。
- 1973年 スペイン外務省に入省。
- 1976年 在米スペイン大使館一等書記官に就任。
- 1980年 在エジプトスペイン大使館参事官に就任。
- 1983年 スペイン外務省報道官補佐。
- 1985年 外務大臣首席秘書官。
- 1990年 駐インド大使（ネパール・バングラデシュ、スリランカ、モルディブ大使兼任）に就任。
- 1994年 駐日大使に就任。



サラス新駐日大使

スペイン・さくら植樹旅行は11月初旬の予定

桜植樹旅行委員会を設けて旅行計画の検討はじまる

スペインに桜を植樹する募金活動にあわせ、事務局ではかねてから数回の旅行アンケートをいたしましたところ、120余名の方々から沢山の御意見をいただきました。

4月の理事会で桜植樹をふまえたスペイン旅行の実施計画が検討され、桜植樹旅行委員会を設けて推進することになりました。今後は下記の構想により進めて参りますので皆様からの具体的なご要望を賜りたいと存じます。

1. 旅行日程

時期は今年11月初旬に計画しています。植樹祭の行事日程はセビリア市の都合を確認後に決定します。すでに4月20日付書簡にてセビリア市長に申し入れました。今後、協会の渉外担当の宮崎委員を通じ、同市環境委員会委員長カルメン女史と連絡をとりながら具体策を詰めていきます。日程が確定後、旅行者に委託して参加を募ります。

2. 旅行内容

アンケートを検討した結果、旅行内容が異なるグループ旅行を組む必要がわかりました。仮にパッケージツアーとフリーツアーと呼びます。

パッケージツアーは四ツ星以上のホテルに宿泊し、移動に際しては大型観光バス、出発から帰国まで添乗員同行などの内容です。旅程は8日～10日間で検討します。

フリーツアーは団体旅行の恩典を考慮に入れて、

出発と帰国は同じグループで一緒に移動します。スペイン国内では、原則として各人独自の行動としますが、セビリア市とコリア・デル・リオ市での桜植樹祭の諸行事には必ず参加することが必要です。そしてセビリア市関係者招待懇親会の晩は市内のホテルに同宿となります。旅程は10日～14日間で検討いたします。

3. 桜植樹の諸行事

セビリア市庁舎を表敬訪問（希望者のみ）。

セビリア市関係者招待懇親会を開催し親善を深めます（全員参加）。日本文化の披露、横浜市の紹介を予定しています。

桜植樹式はセビリア市とコリア・デル・リオ市で同日に開催する予定です。全員参加ですので大型観光バスで会場を移動するつもりです。

最後に、7月中に調整を済ませ旅行計画を確定する計画です。

95年度協会行事のご案内

4月15日の総会も無事終了し、5月20日「支倉常長の旅Ⅳ」講演会、5月27日スペイン語茶話会に続く、当協会の今年度の諸行事の予定をご案内いたします。

1. 6月30日（金）A I Y E S 5周年記念

パーティ（新スペイン大使歓迎レセプション）

7月7日が当協会の創立5周年にあたる事と、駐日スペイン新任大使が着任されたことを祝し6月下旬に新大使をご招待して歓迎パーティを開催する予定です。

このパーティでは、今春のスペイン語教室との合同新年会に参加された方々も含めたメンバーにより、新大使の前で、例えばお茶、お琴の実演をし、大使に日本を理解していただく縁となれればと願っております。もし、この催しが成功に終われば、11月の植樹ミッション一行に組み入れ、名実

共に日本と横浜のデリゲーションとしての役割を果たせたら、と夢見る想いを膨らませております。

2. テルトゥリア（スペイン語茶話会）

毎月スペインの方をお招きし、スペイン語のお喋りを楽しむ場です。世話役（松本益代＝045-941-8960、中山陽子＝045-335-5785）まで予定をご確認の上ご参加下さる様お願いします。

3. 7月22日（土）A I Y E S 納涼パーティ

ビールが美味しい季節となりますので、会員の加瀬隆康氏（麒麟ビール横浜支社）のご厚意に預り、麒麟ビアガーデンでの納涼パーティを開催します。

4. スペイン語特別教室の新設・9月スタート
スペイン語教室では、9月よりスペイン各州のビデオを教材とした特別教室と初心者教室を新設し、8月1日発行の県広報紙で募集します。翻訳コース・通訳養成コースも補充いたします。
5. 9月16日(土)「支倉常長の旅V」および植樹ミッションの編成。
植樹旅行委員会より参加意向調査、申込等の手続の発表予定。

6. 10月21日(土)桜植樹ミッション結団式の予定です。
7. 12月16日(土)桜植樹ミッション報告会
年末パーティは新年会に振替となります。
8. 96年1月20日(土)新年会。
第三回スペイン写真展は2月開催の予定です。

はじめまして皆さんこんにちは！

当協会の活性化とともに多数の皆さんが入会されています。今回は最近入会された方々の自己紹介です。

◆小林英子

スペイン語教室には落ちこぼれましたが、スペイン大好きな気持ちは本物です。同じ気持ちを持っている仲間に会えて、これから広がって行く世界に期待が膨らんで行きます。

◆税所浄子

スペイン語を3年程前から勉強しています。是非、スペイン旅行をしたいと思っています。

◆森崎佳子

今、スペイン語を勉強しています。将来、スペインで日本語の教師をしたいと考えております。

◆筒山明夫

3年程前に、原因不明の“スペイン病”に罹り、スペイン語を習い始めました。昨年6月に、2週間のスペイン旅行をしたら、もっともっと、スペインの事が知りたくなりました。

◆平田正信

スペインの風土、文化、更には、歴史的遺産に心ひかれるものあり、これらについて、一層勉強して行きたいと思っています。

◆中間由幾乃

4年程前、母とスペインへ旅行し、一度で、中南米から転向してファンになりました。今、スペイン語を独学で勉強中です。少しは喋れるようになったら、スペインに行って、ギターの演奏会を聞きに行こうと思っています。

◆渡壁福三

スペイン語を通して、スペインに強い関心を持っています。同好の方々と親しくなり、両国の友

好親善関係に少しなりとも、貢献したいと考えております。目下、通訳養成講座に挑戦中です。

◆勝部祐子

またスペインに一步近づける様な気がして、大変嬉しいのです。4年前に『スペインへ』という著作集を出版致しました。これからも、何か書けると良いのですが…

◆JTB横浜海外旅行センター(賛助会員) 皆川一敏

旅行代理店勤務の傍ら市民交流事業に関心があり、市民ボランティアに協力したいと考えています。

◆石井加奈弘

以前からスペイン及び中南米に大変憧れておりました。学生時代に学んだスペイン語も錆つくばかりでしたが、教室と協会に入会し、更に、新しい友人と新しい事とにどんどん挑戦したい！

◆宮川美句子

30年以上も前、東京でスペイン語講習会に通って以来スペインの虜になり、聖地コンポステラ・バスク・マドリー周辺カタルーニャ・アンダルシア等色々な顔を持つスペインを知れば知る程、魅せられ、スペイン大好きの人達と語り会いたい！

◆鎌田暁子

気が付いたら5年以上もスペインに住んでいました。仕事？何かの勉強の為？いえ、別に。ただ何となく…、好きなんです。居心地も良く。何の理由もなく…変なのー、と大抵の人は言います。あなたは訳もなく人や物を好きになったことはありませんか。それと同じ、といったら解ってもらえるでしょうか。

亡き娘のためにと

三崎夫妻より“さくら交流基金”に多額の寄付

スペインが好きで、何度か訪れた愛娘が突然の事故で他界した。後に残されたご両親は、娘のために当協会のさくら交流事業に協力をしたいと申し出た。その経緯を綴った下山会長宛のお手紙を、三崎輝夫・甫子（ともこ）ご夫妻のご了解のもとにここに紹介します。（編集にて加筆、訂正をしました。）

桜のたよりも日々届くころとなりました。先日はお電話いただき有難うございました。（中略）

3月の初めに品川様（日本桜の会常務理事）より貴会の冊子などお送りいただいて読ませていただき、外国に植物を送ることのむつかしさを痛感しました。貴会が10年も掛けて積みあげたものに私どもが参加させていただいたこと有難く感謝致しております。4月20日の祝賀会に出席させていただき、貴方様にお目に掛けてあらためてお礼申し上げたいと存じます。宜しくお願い致します。

私どもは京都の宇治市に30余年住んでおりました。亡き娘は高校まで宇治で生活し、大学とお勤めを東京でしておりました。一人きりの子供でございました。私も1年に5、6回上京し、1週間ほど生活するのを楽しみにしておりました。

平成5年7月18日、総選挙の日の事故でございました。（中略）運転していた方の居眠りにより環八の中央分離帯を乗り越え、反対車線を走ってきたベンツに衝突し娘は即死、運転しておられた方だけは五体満足で生還し、後部座席の2人の娘さんは後遺症の残る重傷を負われました。運転者の一寸した不注意で私どもの将来の夢も希望も崩れ去りました。宇治で生活していたら気が狂うのではないかと思います、彼女を授け、茶毘にふした地を百々日すぎた10月末に出て参りまして、事故現場に近い杉並区に居を移しました。

一周忌前に保険会社の示された、娘の命と引き替えのお金を受取りました。私どもにとっては命の買えない無意味なお金でございます。娘由美子が29才と10日生きた証として何か残したいと思ひまして、彼女が好きで3回ほど訪れたスペインに桜の花を送ろうと安易に考えましたが、どうして良いのかわからず、たまたまテレビで“日本桜の



三崎由美子さんの略歴

1964年 7月8日 京都府宇治市に生まれる
1985年 明治大学短期大学卒業
日本相互証券㈱入社
1991年 「旅行業務取扱主任者」資格取得
1993年 交通事故のため死亡（29才）

会”を知り、NHKに問い合わせ、お手紙を出させていただきそれが品川様との出会いでございました。国内、国外を問わず旅行の好きな娘でございました。そのような仕事をしたいと思ったのか旅行主任の資格をとっておりました。

品川様にお願いし国外はスペインに、あと国内にも植えさせていただけるところがありましたらとお願い致しました。（中略）私どもとしては、人生に華さかせることもなく短い命を断ってしまった娘由美子に代って異国で咲いてもらいたい、その成長を楽しみに、アルバムに残された各地を訪れること、これを私どもの生き甲斐にして余生を送って行こうと思っております。勝手なことばかり書いてしまいました。お許し下さいませ。又これを機会に入会させていただけますならば嬉しく存じます。

かしこ

4月4日 三浦 甫子

下山 貞明様